I-O DATA

USB光デジタルオーディオ出力アダプタ

D2Link

取扱説明書

87347-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Intelは、米国インテル社の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,iMac,iBook,Mac,PowerMacintosh,PowerBookは、米国およびその他の国で登録された米国Apple Computer,Inc.の登録商標または商標です。
- WinDVD™2000は、インタービデオジャパン株式会社の商標です。
- Dolby,ドルビー,ProLogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

D2link 取扱説明書
2001.Apr.02　87347-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

接続前の準備を行います。必ずお読みください。
……第１章

↓

本製品のドライバをインストールします。
……第２章

↓

本製品の接続の一例を紹介します。
……第３章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me、Windows 98、Windows 2000の総称

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・ i
もくじ・・・・・・・・・・・・・・ ii
D2linkの特徴・・・・・・・・・・・ iv

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

箱を開けたら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
注意していただきたいこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2 インストール

Windows Me にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・ １０
Windows 98 にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・ １２
Windows 2000 にインストール ・・・・・・・・・・・・・・ １８
Macintosh にインストール・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０

3 使い方いろいろ

用途にあわせて接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４

4 ふろく

困ったときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３６

サポートセンターへのお問い合わせ ・・・・・ ３７
サービス品に関するお問い合わせ ・・・・・・ ３８
保証について ・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９
修理について ・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０

D2linkの特徴

◆ 高品質な音を手軽に

D2linkはパソコンのUSBインターフェイスに対応した、光デジタルオーディオケーブルです。DVD、CD、MP3をはじめとするパソコンのあらゆるデジタル音声もD2linkを用いれば、そのままデジタルのクリアな音質で出力することができます。

◆ パソコンからドルビーデジタル5.1chの出力が可能

D2linkと添付のDVD再生ソフト「WinDVD™2000」※1を用いれば、DVDのドルビーデジタル5.1ch音声もパソコンからの出力が可能になります※2。お持ちの5.1chスピーカーシステムと組み合わせることで、映画館並の音質を楽しむことが出来ます。なお、弊社製バーチャルドルビーデジタルスピーカー「P2DiPOLE」との接続も可能です。

※1 添付のDVD再生ソフト「WinDVD™2000」は、サービス品につき弊社ではサポートいたしかねます。サポート窓口は38ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

※2 ドルビーデジタルサウンドを出力中は、他のサウンドは再生できません。また、「WinDVD™2000」はMacintoshに対応しておりません。

◆ パソコンとMDが簡単につながる

話題のMP3をはじめ、Wave、MIDI、RealAudioストリームなどのあらゆるパソコン上のデジタル音声を、D2linkの「光デジタル出力端子」から出力することができます。MDレコーダーをはじめとする光デジタル入力対応デジタル録音機器※と接続し、高音質のまま録音が可能です。

※ サンプリングレートが48kHzに対応している必要があります。

◆ 高音質・低雑音設計

アナログ回路を一切排除したデジタルオーディオ設計。
さらに外部に音源を出すことで、パソコンからのノイズを完全にシャットアウト。D2linkを用いればデジタルならではのクリアな音声の再生・録音が可能になります。

◆ USB接続

パソコンのふたを開けることなく、簡単に接続が可能。
外部電源が不要なのでACアダプタの配線やコンセントが要らず、
机のまわりもすっきり。

◆ 光デジタルケーブルを標準添付

D2linkには1mの「光デジタルケーブル」を標準添付しております。
さらにMD等のポータブル機器に採用されている「光ミニプラグ」と据え置き型機器のための「光角型プラグ」の両方に対応する「光端子変換プラグ」(角型→丸型)も同梱しております。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。



箱を開けたら　2ページ

箱の中に入っているものを確認してください。また、ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。



各部の名称　5ページ

本製品の各部の名称を説明します。



動作環境　6ページ

お手元の環境で、本製品が動作可能かどうか確認してください。



注意していただきたいこと　7ページ

接続時や使用時に、してはいけないこと等を説明しています。
必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

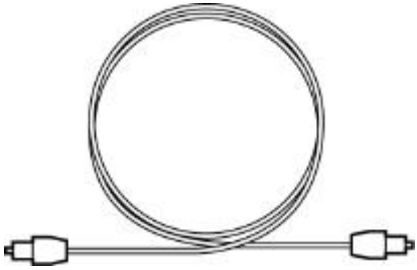
箱を開けたら

中身を確認してください

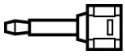
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。



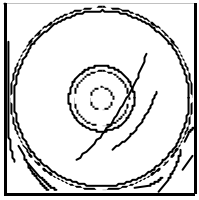
□ **D2link本体**
（ケーブル長 17cm）



□ **光デジタルケーブル（1m）**

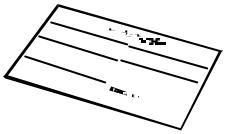


□ **光端子変換プラグ**

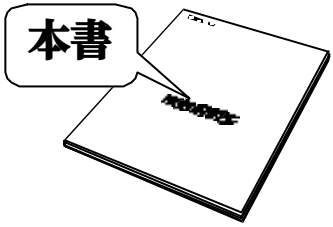


□ **DVD再生ソフト**
D2link用「WinDVD™2000」※

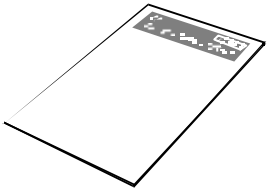
※ 「WinDVD™2000」のインストール時やユーザーサポート時に必要なシリアル番号が記載されています。大切に保管してください。



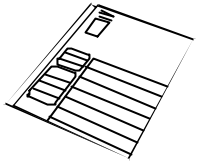
☐ ハードウェア保証書



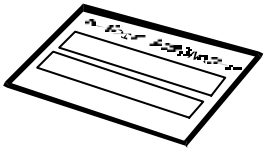
☑ 取扱説明書



☐ 『安全で快適にお使いいただくために』



☐ ユーザー登録カード



☐ ハードウェアシリアルNo.シール

万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。



箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録をしてください

1 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

- **オンライン登録(http://www.iodata.co.jp/regist/)**

  インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
  上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
  オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

- **ハガキ登録**

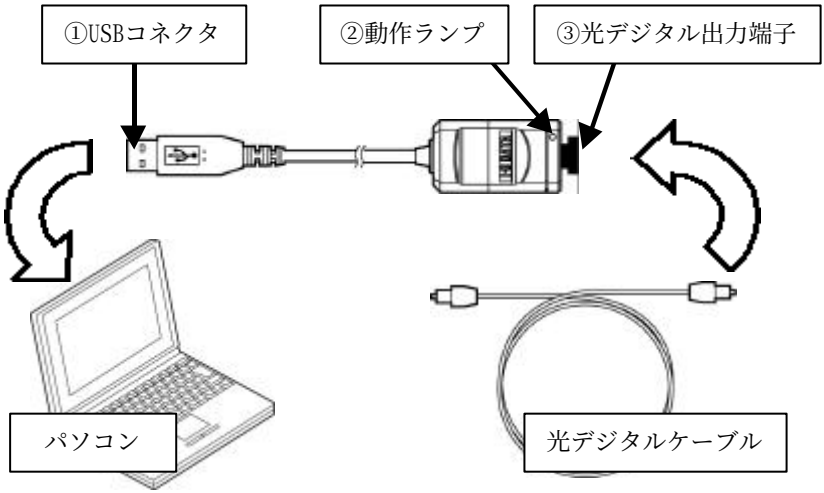
  ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



ユーザー登録の際、必要事項の入力漏れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

各部の名称

「D2link」本体の各部の名称は、以下のようになっています。



①USBコネクタ	お使いのパソコンのUSBポートに接続します。
②動作ランプ	USBコネクタを接続すると、青色に点灯します。
③光デジタル出力端子	同梱の光デジタルケーブルを接続します。 ※出荷時は、端子にキャップが付いた状態です。 本製品を使用する時は、キャップを取り外してください。また、使用しない時は、必ずキャップで端子にふたをしてください。（キャップは紛失しない様ご注意ください。）

動作環境

■Windows ■

対応機種	・USB インターフェイス標準搭載の DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。） ・USB インターフェイス標準搭載の NEC PC98-NX シリーズ さらに以下の条件を満たしている必要があります。 ・CPU：MMX Pentium 166MHz 以上※（Windows Me/98 SE の場合） ※「WinDVD™2000」再生時は Pentium Ⅱ 350MHz 以上（Windows Me/98 SE の場合） Pentium Ⅱ 400MHz 以上（Windows 2000 の場合） ・メモリ：32M バイト以上（Windows Me/98 SE の場合） 64M バイト以上（Windows 2000 の場合）
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98 Second Edition Windows 2000
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）
CD-ROM ドライブ	「WinDVD™2000」のインストール時に必要

■Macintosh ■

対応機種	PowerPC G3以上で、USBインターフェイス標準搭載の以下の機種 ・PowerMac　・iMac ・PowerBook　・iBook
対応 OS	Mac OS 9.0.4/9.1
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

※ Macintosh では、PCM のみ対応です。

注意していただきたいこと

- **本製品を使用中は、本製品に接続された機器側で音量の調整を行ってください。**
- **ドルビーデジタルの音声とPCM2chの音声を同時に出力することはできません。**
- **DVDの音声をMDに録音することはできません。**
- **本製品を使用しない時は、必ず付属のキャップで光デジタル出力端子にふたをしてください。**

  端子内部にゴミが入ると正しく音声が出力されない恐れがあります。
- **他のオーディオデバイス（サウンドカード等）との併用は出来ません。**

  もともとインストールされているサウンドカードや、マザーボード内蔵のオーディオ機能などは自動的に無効になります。ただし、使用するオーディオデバイスを選択できる機能を持ったアプリケーションでは、併用が可能な場合もあります。

  尚、既存のサウンドカードを取り外したり、ジャンパやBIOSによってハードウェア的に無効にする必要はありません。
- **音楽CDの再生は、「デジタル音声抽出」に対応したドライブでのみ可能です。**

  デジタル音声抽出可能なドライブの場合、以下の項目でチェック可能です。
  なお、チェックできない場合は、未対応です。

  ・Windows Meの場合：

  [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリック→[デバイスマネージャ]タブ内の[CD-ROM]をダブルクリックして下に表示されるデバイスをダブルクリック→[プロパティ]タブ内の[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]がチェックできます。

  ・Windows 98の場合：

  [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]をクリック→[音楽CD]タブ内の[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを利用可能にする]がチェックできます。

・Windows 2000の場合：
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]をクリック→[ハードウェア]タブで[CD-ROMドライブ]を選択して[プロパティ]をクリック→[プロパティ]タブ内の[デジタルCD再生]がチェックできます。

・MIDIファイルの再生は、「Microsoft GS Wavetable SW Synth(WDM専用)」のみ利用可能です。
一般的なソフトウェアシンセサイザー（ヤマハSoftSynthesizer等）は、お使いになれません。

・本製品そのものから音声が出力されるわけではありません。
音声は本製品に接続されたデジタルオーディオ機器を通じて出力されます。
なお、MDレコーダー等の録音機器と接続する場合には、録音状態または録音待機状態にしておく必要があります。AVアンプ等では入力端子に接続するだけで、音声の出力が可能です。

・MP3データはファイルのままMDに転送されるわけではありません。
「MP3ファイルのMDへの録音」は、MP3の再生音がMDにデジタルで録音されることを意味します。音声ファイルが本製品を介してファイルの状態でMDに転送されるわけではありません。

・本製品はパソコン本体のUSBポートに直接接続してお使いください。
USBハブを介して接続した場合の動作は、保証いたしません。

・Macintoshで使用する場合、本体が起動した後に本製品を接続してください。

・ドルビーデジタル5.1ch音声の出力は、本製品と添付のDVD再生ソフトD2link用「WinDVD™2000」との組み合わせにおいてのみ可能です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2 インストール

この章では、インストールについて説明します。インストール作業はご使用の OS により異なります。



Windows Meにインストール　１０ページ

お使いのOSがWindows Meの場合は、このページをお読みください。



Windows 98にインストール　１２ページ

お使いのOSがWindows 98の場合は、このページをお読みください。



Windows 2000にインストール　１８ページ

お使いのOSがWindows 2000の場合は、このページをお読みください。



Macintoshにインストール　２０ページ

お使いのパソコンがMacintoshの場合は、このページをお読みください。

Windows Meにインストール

1 Windows Meを起動します。

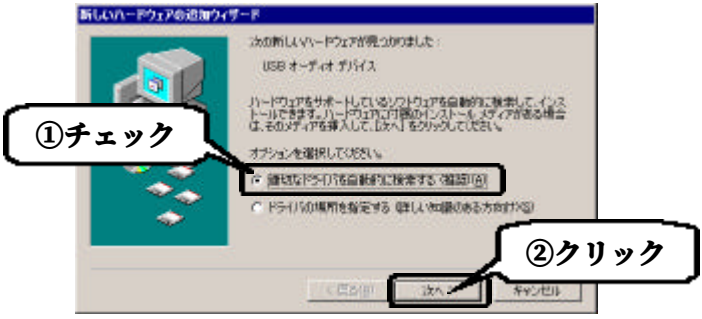
2 パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows Meが完全に起動した状態で接続します。

注意

・パソコンのUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[適切なドライバを自動的に・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



4 [完了]ボタンをクリックします。

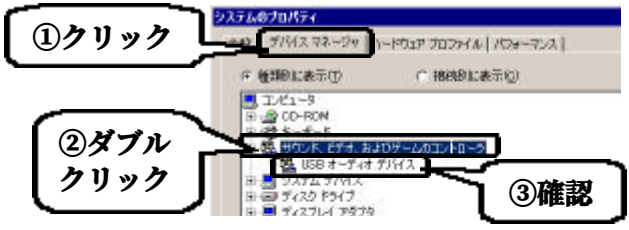


これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 98にインストール

1 Windows 98を起動します。

2 パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows 98が完全に起動した状態で接続します。

注意

・パソコンのUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

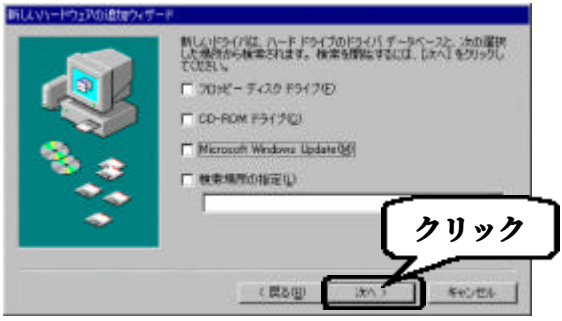


4 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



5 [次へ]ボタンをクリックします。

チェックの個所や枠内の文字は、お使いの環境により異なります。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックしてください。



6 [次へ]ボタンをクリックします。



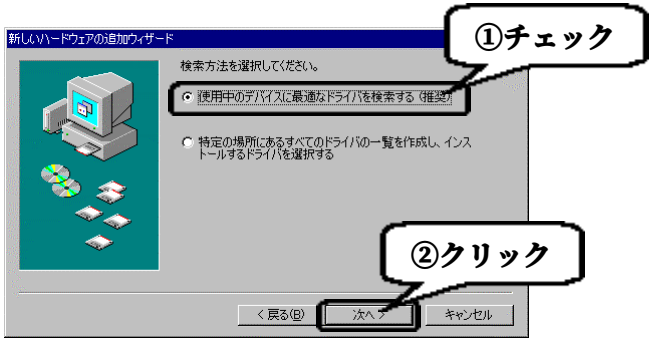
7 [完了]ボタンをクリックします。



8 [次へ]ボタンをクリックします。

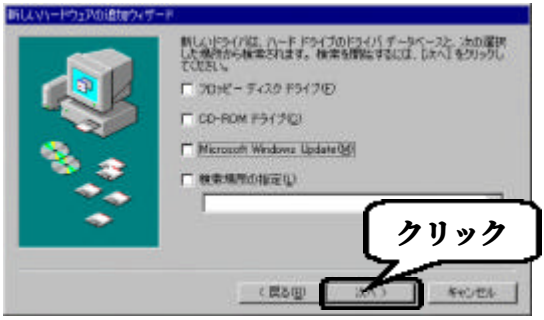


9 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



10 [次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。



11 [次へ]ボタンをクリックします。



12 [完了]ボタンをクリックします。

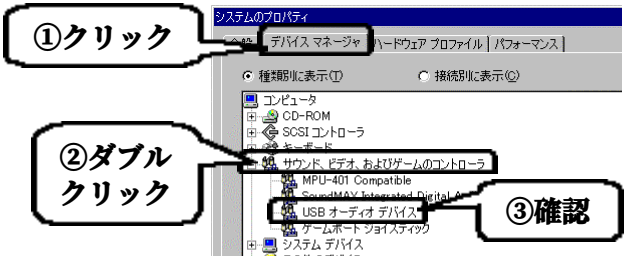


これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 2000にインストール

1 Windows 2000を起動します。

2 パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows 2000が完全に起動した状態で接続します。

注意

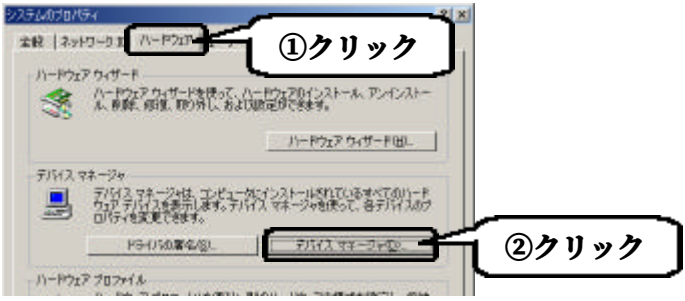
・パソコンのUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

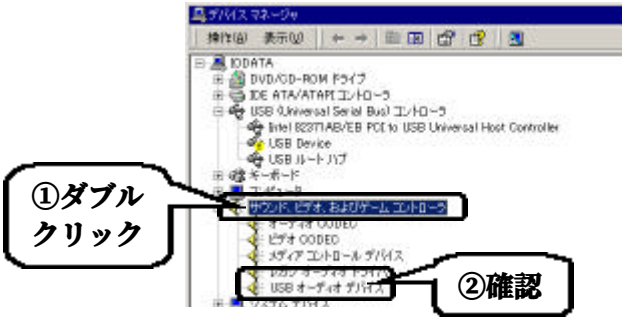
インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Macintoshにインストール

1 Macintoshを起動します。

2 パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Macintoshが完全に起動した状態で接続します。

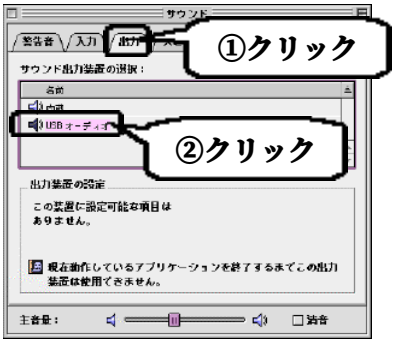
注意

・パソコンのUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品を使用するための設定を行います。

3 アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

4 [出力]タブをクリックし、[名前]欄で[USBオーディオ]をクリックします。



5 画面左上の□をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。



Macintosh で使用する場合、本体が起動した後に本製品を接続してください。

MEMO

3 使い方いろいろ

本製品は光ケーブルを接続できるオーディオ機器なら、何でも接続できます。
ここでは、接続例のほんの一部を紹介します。



用途にあわせて接続　２４ページ

本製品は、光入力端子を持った機器なら何でも接続可能です。
ここでは、多様な使い方の一部を紹介します。

用途にあわせて接続

本製品では、光入力端子を持った機器なら何でも接続できます。
普段パソコンから出力される「音」、例えば音楽CDや、DVDタイトル、MIDI、WAVEといった音をいつものとおり再生するだけで、高音質のまま出力します。
MDレコーダーで録音したり、スピーカーを接続してDVDタイトルを鑑賞したりと使い方はさまざまです。
下記は使い方のほんの一例です。

5.1chスピーカーシステムと接続して大迫力5.1chサウンドを体験する！ → **２５ページ**

MDレコーダーを接続して高音質録音をする！ → **２７ページ**

スピーカーと接続

※ スピーカーは、弊社製「P2DiPOLE」をおすすめします。

音楽CDの再生は、OS標準のプレーヤーソフトや、お好みのプレーヤーソフトで再生してください。

DVDタイトルを再生する場合は、添付の「WinDVD™2000」（Windows Me/98/2000のみ対応）をご使用ください※1※2※3。

※1 「WinDVD™2000」のインストール方法、設定等につきましては、本製品に添付の「WinDVD™2000」CD-ROM内のReadme.txtをお読みください。

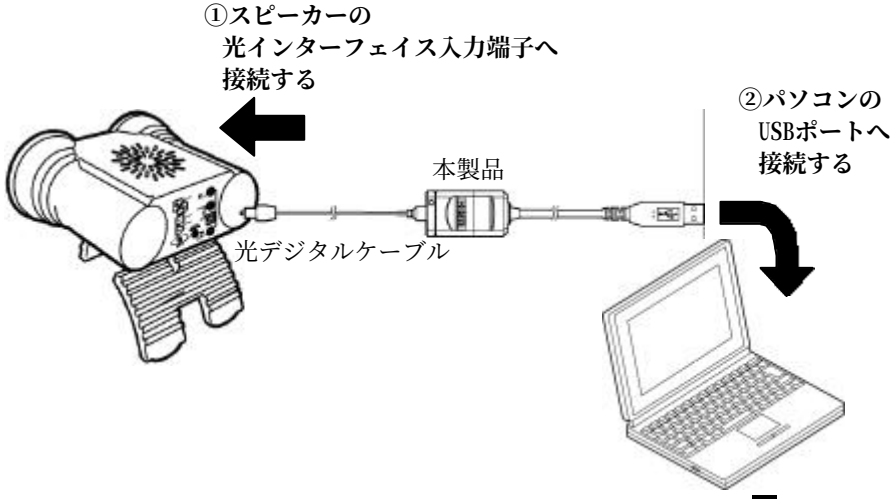
※2 「WinDVD™2000」にてDVDタイトルを再生中は、本製品に接続された機器側（スピーカー等）で音量の調整を行ってください。

※3 「WinDVD™2000」は、他のDVDプレイヤーとの併用はおすすめいたしかねます。くわしくはインタービデオジャパン株式会社（38ページ参照）へお問い合わせください。

スピーカーとの接続例

① 本製品に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をスピーカーの光インターフェイス入力端子に接続します。

② 本製品のUSBコネクタを、パソコンのUSBポートへ接続します。





DVD のドルビーデジタル5.1ch 音声をお楽しみになる場合は
→添付の「WinDVD™2000」画面内の[プロパティ]メニュー →[オーディオ設定] で、[S/PDIF 出力を有効にする (P)] を選択してください。

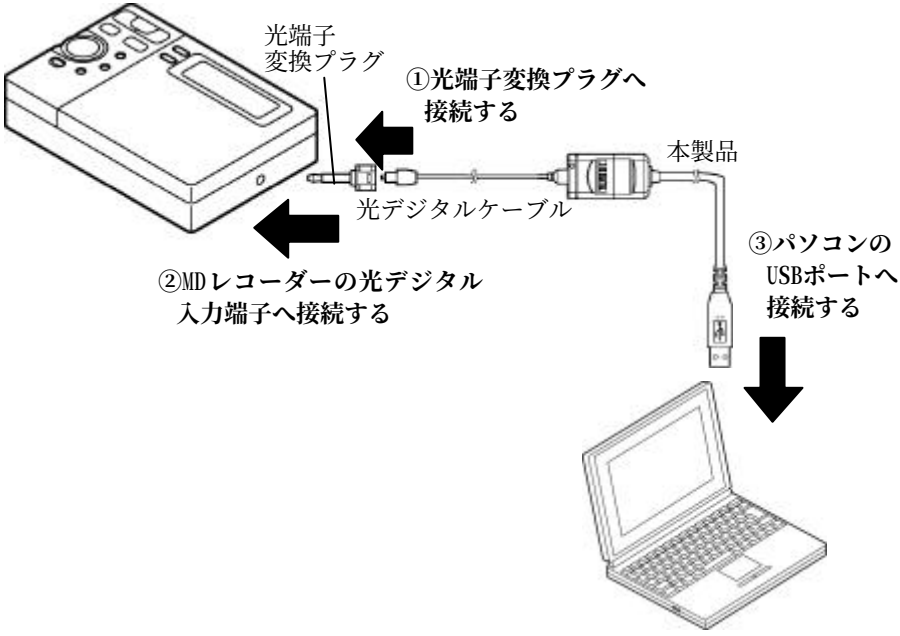
MDレコーダーと接続

MDレコーダーは、録音待機状態にし、パソコン側でいつもどおりに音の再生をしてください。

DVD の音声は録音できません。

MDレコーダーとの接続例

① 光デジタルケーブルの一方の端子と、光端子変換プラグを接続します。
② 本製品に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をMDレコーダーの光デジタル入力端子に接続します。
③ 本製品のUSBコネクタを、パソコンのUSBポートへ接続します。





スピーカーやMD レコーダー等、本製品への接続機器の取り扱い（本製品との接続個所など）については、接続機器に添付の取扱説明書をご覧ください。



本製品は、パソコン起動中でもUSB ポートからの抜き差しが可能です※。
必要なときだけ接続し、それ以外は、別のUSB 機器を使うといったこともできます。
※ 再生中は本製品を抜き差ししないでください。

4 ふろく



困ったときには　30ページ

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。ぜひお試しください。



仕様　35ページ

本製品の基本仕様を説明します。



用語解説　36ページ

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明します。

困ったときには

MDレコーダーに録音されない

対処１ **MDレコーダーは録音待機状態になっていますか？**

MDレコーダーでの録音方法等については、MDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

対処２ **本製品から音声が出力されていますか？**

次ページ「本製品から音声が出力されていない」の対処方法を参照してください。

MDレコーダーの表示部に「Din Unlock」という文字が点滅する

対処 **シャープ製MDレコーダの一部の機種でこの現象が確認されています。**

この現象が発生しても、ご使用上の問題はありません。そのままご使用ください。

MIDI再生ができない（Windowsのみ）

対処 **本製品を接続したままWindowsを再起動してみてください。**

Windows起動中に本製品をパソコンから外し、その状態でパソコン内蔵のサウンドボードを使ってMIDIの再生をした場合、本製品を接続しなおしても本製品から音の出力がされない場合があります。このような場合は、本製品をパソコンに接続したままWindowsを再起動してみてください。

本製品から音声が出力されていない

対処 **以下の手順で設定します。**

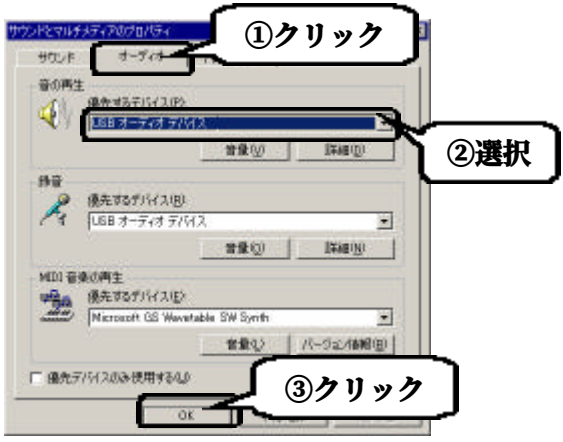
お使いの環境にあったページをお読みください。

- Windows Me、Windows 2000の設定→以下の手順
- Windows 98の設定→次ページ
- Macintoshの設定→33ページ

Windows Me、Windows 2000の設定

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]を順にクリックします。**

2 **[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。**



これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 98の設定

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を順にクリックします。**

2 **[オーディオ]タブをクリックし、[再生]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。**

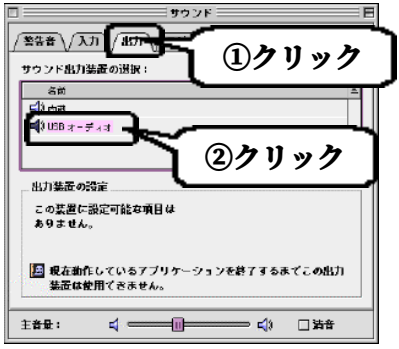


これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Macintoshの設定

1 アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

2 [出力]タブをクリックし、[名前]欄で[USBオーディオ]をクリックします。



3 画面左上の□をクリックして、画面を閉じます。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない

対処 **以下の方法でもう１度接続してください。**

本製品を接続した状態でパソコンが起動しなかったり、省電力モードから復帰できない場合は、いったんパソコンの電源を切り、本製品をUSBポートから抜いてください。その後、再びパソコンの電源を入れ、パソコンが完全に起動したことを確認後、本製品を接続してください。

「WinDVD™ 2000」が正しく動作しない

対処 **インタービデオジャパン株式会社へお問い合わせください。**

問い合わせ先は、本書38ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

仕様

型番	USB-HKR
インターフェイス	USB Specification Ver.1.1 準拠
出力サンプリング周波数	量子化16ビット・サンプリングレート48kHz ※その他のサンプリングレートは48kHzに変換
出力コネクタ	光デジタル音声出力（TOSLINK角型ジャック）
使用温度範囲	+5℃～+35℃ （パソコンの動作する温度であること）
使用湿度範囲	20%～80% （結露しないこと。パソコンの動作する湿度であること）
電源電圧	DC5.0V （USBポートより供給）
消費電流	140mA（MAX）
ケーブル長	170mm
サイズ	26.5（H）×55（L）×30（W）mm （ケーブル等突起部を除く）
質量	約50g （ケーブルを含む）

用語解説

ドルビーデジタル　*(Dolby Digital)*

DVD に採用されている音声の記録方式です。特に、ドルビーデジタル 5.1ch 方式では、フロント 3ch、サラウンド 2ch、サブウーハー0.1ch で計 5.1ch を用いて、映画館の迫力と臨場感あふれる立体音場を家庭で再現できます。

PCM（ピーシーエム）　*(Pulse Code Modulation)*

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVD でもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、29、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「D2link」係　宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3646
東京　03-3254-1036
受付時間　9:30 ～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「D2link」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、サポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。



サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。

「WinDVD™2000」に関するお問い合わせ

インタービデオジャパン株式会社

住所：〒160-0023　東京都新宿区西新宿3-5-3 ダイヤモンドパレス415
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
ユーザーサポート e-mail：support@intervideo.co.jp
FAX番号：03-5325-4169
電話番号：03-3343-2838
受付時間：月～金曜日　9:30～12:00、13:30～17:00
（祝祭日を除く）

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担とし、修理後の返送費用は負担させていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『D2link』 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　『D2link』サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。